

2015年7月20日
号外 川越版
プレス民主編集部
〒350-8601
川越市元町1-3-1
川越市役所 6F
民主党議員団内

事務所 350-1137 自宅 350-1137
川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階 川越市砂新田5-27-9
TEL・FAX 049-249-3306 TEL・FAX 049-242-3543
e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com
URL <http://www.yamaki-ayako.com>



川越市議会議員



改選後

初の定例議会が終了しました。

6月4日に開会となりました、統一選挙後、初めての定例会が6月30日に閉会しました。上程になった議案は、・条例の制定2件 ・条例の1部改正5件 ・請負契約の変更1件 ・工事に関する協定1件 ・訴えの定義1件 ・補正予算1件 ・平成26年度継続費繰越計算書 1件 ・平成26年度繰越免許費計算書1件の議案審査をし、原案通り可決いたしました。追加となりました、議員提出議案1件と、農業委員会委員・監査委員の推薦と4つの特別委員会の専任も決定いたしました。

★ 4つの特別委員会 が設置されました。

- 山木綾子議員 ・川越駅周辺対策特別委員会 ・いじめ問題対策特別委員会 (副委員長)
- 片野広隆議員 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
・人口問題と社会現象に関する特別委員会
に所属し、付託されたそれぞれの事項について調査研究してまいります。

★ 会派の構成等も大きく変わりました。

- ❖自由民主党議員団 10名
 - ❖公明党議員団 7名
 - ❖日本共産党議員団 5名
 - ❖やまぶき会 5名
 - ❖市民フォーラム 3名
 - ❖政晴会 3名
 - ❖民主党議員団 2名
 - ❖無所属 1名
- 民主党議員団は、片野広隆議員と山木綾子議員と二人で活動することに成りました。

改選を終えて議会の人事も大きく変わりました。民主党議員団の議会人事は下記の通りとなりました。それぞれが与えられた場所で、精一杯発言してまいります。

★ 主な委員会・審議会

山木綾子議員 民主党議員団代表

- ・文化教育常任委員会 委員長
- ・土地開発公社 理事
- ・総合計画審議会 委員
- ・まち・人・仕事創生総合戦略審議会 委員
- ・社会福祉審議会 児童福祉専門部会 委員
- ・社会教育委員協議会 委員
- ・図書室委員会 委員

片野広隆議員 議会運営委員

- ・総務財政常任委員会 委員
- ・川越地区消防組合議会 議長
- ・廃棄物減量等推進協議会 委員
- ・都市計画審議会 委員
- ・なぐわし公園連絡会議 委員
- ・広報誌(議会)編集委員会 委員
- ・政務活動費経理責任者会議 委員

山本綾子の一般質問

I. 保育園の待機児童 74

女性の社会進出が叫ばれて長い年月が過ぎました。この間男女共同参画を念頭に置いた様々な施策が施されると共に、男性社会を支える立場での働き方から、社会全体を支える働き方へと女性の働き方が大きく変わってきました。

子育て世代に、子育て支援の最たるものは何かと尋ねると、『安心して、子どもを預けて働くことのできる環境』と言う答えが返ってきます。川越市もここ何年も子育て支援の一環として、待機児童ゼロを目指して、保育園の定員増を図ってきました。昨年、保育所の施設整備を行い360名の定員を増やしました。

そこで、保育園の待機について、何点かお伺いしました。

1. 平成27年4月1日現在で待機児童数74名が生じているのはなぜか。

【答弁】1点目は、入所申込者数が昨年度と比べまして459名増加しました。

2点目は、保育所等の整備を行わなかった霞ヶ関地区、名細地区の待機児童数が44名増加するなど、地域間の差異が生じました。

3点目は、1歳児と2歳児の待機児童数が52名と全体の7割を占めクラス年齢における差異が生じたことなどが挙げられます。

2. 待機児童74名の地域ごとの状況はどうか。

【答弁】本庁管内が11名、芳野地区が3名、古谷地区が1名、高階地区が2名、福原地区が1名、大東地区が3名、霞ヶ関地区が31名、霞ヶ関北地区が3名、名細地区が13名、そのほかに、市外の保育所を希望する者が6名となっています。

3. 定員が空いているという話を聞くが、保育所に入所できない子どもがいるのはどうしてか。

【答弁】新規に開園した保育園につきましては、4歳児、5歳児クラスにつきましては、定員に達していない状況があります。

これは、4歳、5歳は、途中から入園する児童が少ないためです。

これに対しまして、待機児童数が多いのは1歳児、2歳児クラスとなり、クラス年齢に

よる差異、いわゆる年齢のミスマッチが生じることとなってまいります。

また、定員が空いている保育園には、距離的に通えないため、希望する保育園としない場合もあり、定員が空いているのに、保育所に入所できない子どもが生じてしまうことになっております。

4. 小規模保育事業所の入所の状況はどうか。

【答弁】市内で10箇所実施しており、0歳児から2歳児クラスで合計174名分の定員を確保しています。



入所状況につきましては、平成27年4月1日時点で134名が入所しており、入所率は77.0%となっております。

また、最新の状況としまして、平成27年6月1日時点では151名が入所しており、入所率は86.8%となっております。

5. 横浜市の保育コンシェルジュとは、どのようなものか。また、横浜市が待機児童ゼロを達成した理由は何か。

【答弁】保護者からの相談に応じて、保護者のニーズと保育サービス等を適切に結びつけるため、認可保育所のほか、横浜市独自の基準を満たした認可外保育施設の「横浜保育室」や、一時預かり事業などの保育サービスの情報提供を総合的に行うものです。

横浜市が待機児童ゼロを達成した、主な理由は、認可保育所の整備において、企業の参入を推進し、定員を大幅に増加させたこと、次に、保育コンシェルジュの配置により、保護者のニーズと保育サービス等を適切に結びつけたこと、また、市独自の基準を満たした「横浜保育室」の受け入れ枠を増やしたことなどです。

7. 小規模保育事業者の募集にあたっては、公募するのか。

【答弁】小規模保育事業が対象とする0歳から2歳までの保育につきましては、他の年齢児と比較しますと、待機児童数が多く、現在

は家庭保育室がその受け皿となっております。

今後は、この家庭保育室制度を廃止し、小規模保育事業への一本化を図る予定ですので、これまでの家庭保育室の役割を踏まえ、小規模保育事業への移行あたって、一定の配慮が必要であると考えています。

家庭保育室から小規模保育事業への移行の状況と、地域ごとの待機児童数の推移、小規模保育事業所の入所状況をみて、公募する可否を検討してまいります。

8. 入所が決定した児童に関する情報について、事業者とどのように共有しているのか。また、他市の状況はどうか。

【答弁】入所が決定したお子さんにつきましては、保護者に対して入所決定通知書を発送するとともに、各事業者で開催される入所説明会に参加されるようお知らせしています。

また、事業者に対しては、入所する児童の名簿を提供し、入所説明会の中で、適切な保育ができるよう、各ご家庭の状況やお子さんの状況に関する情報を収集するようお願いしています。

市が入所申請により知りえた情報を事業者に提供する場合は、申請者から同意を得ることが必要であることから、今後の情報提供のあり方について検討します。

なお、情報共有に関する他市の状況につきましては、ふじみ野市は、世帯構成やお子さんの身体状況等が分かる、入所申請書類一式の写しを、狭山市は、世帯構成や希望利用時間等が分かる書類を、所沢市は、世帯構成や保護者の勤務先等が分かる書類を、入間市は、児童名簿のみを事業者に対して、それぞれ情報提供している状況です。

Ⅱ. 安比奈親水公園と周辺整備

先ごろ安比奈親水公園を利用している方から利用時に一度公園を見に来てほしいとの要望を受けて、過日の日曜日に行ってまいりました。公園利用にあたって、様々なご要望を頂いて、参りました。この機会に何点かお伺いいたします。

1. 安比奈親水公園にはどのようなスポーツ施設があるのか。

【答弁】公園内には、埼玉県から入間川河川敷地占用許可を受けて、陸上競技場兼用のサッカー場1面、野球場2面、ソフトボール場2面、テニスコートを6面、グランドゴルフやゲートボールができる多目的広場を9面整備してあります。

2. 各スポーツ施設の年間利用状況は。

【答弁】平成26年度の利用状況は、サッカー場が412件、野球場が957件、ソフトボール場406件、

テニスコートが2,054件、多目的広場が2,162件の利用があり、延べ人数で約126,000人の利用がありました。

3. 公園整備後、大雨による浸水被害はあったのか。

【答弁】安比奈親水公園は、昭和59年に都市公園として供用開始してから、これまでに浸水被害を受けたことはございません。

4. 利用者からグラウンド整備についての要望はあるのか。

【答弁】グラウンド整備につきましては、定期的に芝刈りや整地等を実施しているところですが、強風により砂が飛ばされるなどでグラウンドに段差が生じた際に、「砂を補充して欲しい」といった要望がございます。

なお、このような要望に対しましては、利用する方にご不便をおかけすることがないように、速やかに対処しています。

5. 野球場などにシェルター付のベンチや、水道施設を設置できないのか。

【答弁】ベンチなどを設置することは、河川敷地の専用になりますが、河川管理者である川越県土事務所に確認しましたところ、「専用許可基準に照らしても、ベンチなど固定する施設は、洪水時の流下能力に支障を及ぼすため、専用を許可する事が出来ない。」との事であり、設置することは難しい状況です。

また、水道施設を節節することにつきましては、公園内にある既設の水道管を延長して野球場などに設置することが可能であるか、関係部署と協議を行いながら検討してまいります。

6. 野球場、ソフトボール場のバックネットの大きさについて。

【答弁】安比奈親水公園は、河川敷にある公園であり、先ほどと同様、河川の流下能力との関係があり、固定式では設置が認められませんので、移動可能で簡易な構造の物を使用しています。

7. スポーツの大会等で、トイレの行列をよく見かけるが、改善策はないのか。

【答弁】トイレが11基設置されているが、多くの方が一時集中して来園するスポーツ大会等でトイレを使用するには行列ができています。

今後は、大会規模や状況に応じて仮設トイレを準備するように主催者に働きかけをするなどして、市といたしましても、利用者に対してご不便をおかけしないようしてまいりたいと考えております。

山木綾子の議案質疑

議案 51号

東武東上線新河岸駅自由通路整備工事の施行に関する協定について

この議案については、5名の議員が質疑を行いました。できる限り重複を避け質疑致しました。

1. 本市における駅の橋上化の事例はあるのか

【答弁】本市における駅の橋上化の事例でございますが、東武鉄道株式会社と協定を締結し、平成16年度から平成17年度に東武東上線霞ヶ関駅の橋上化を実施しております。

2. 自由通路整備だけを議案としている理由

【答弁】自由通路整備を議案としている理由につきましては、自由通路は、工事完成後に市が所有する予定であることから、その工事委託が、「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例」第2条の予定価格1億5千万円以上の工事又は製造の請負に該当し議会の議決に付すべき契約に該当すると判断されるため、議案として上程いたしました。

一方、橋上駅舎は、工事完成後に東武鉄道株式会社が所有する予定であることから、工事負担金として支出するため、工事又は製造の請負に該当せず、議会の議決に付すべき契約に該当しないものと考えております。

3. ホームドアの整備はするのか。

【答弁】国土交通省及び鉄道事業者で構成された「ホームドアの整備促進等に関する検討会」の中間とりまとめとして「ホームにおける旅客の転落防止対策の進め方について」が公表されておりますが、この中で、1日当たりの利用者数10万人以上の駅においては、「ホームの状況等を勘案し、ホームドア等の整備による転落防止策を、ホームに応じ、優先して速やかに実施するよう努める。」とされており、利用者数1万人以上の駅においては、内方線付き点状ブロックの整備等の転落防止策を可能な限り速やかに実施する方針が示されております。

また、整備にあたっては、多大な費用が必要となりますが、国・地方公共団体及び鉄道事業者がそれぞれ3分の1ずつ負担することを基本とする国の支援制度がございます。

こうした中、新河岸駅につきましては、平成26年度の1日当たりの乗降人数が2万3,514人となっており、平成25年度に内方線付き点状ブロックを整備しておりますが、先ほどの中間とりまとめに照らしても、ホームドアを整備

することは難しいと考えております。

6. 工事の作業時間帯について

【答弁】工事の作業時間帯でございますが、鉄道輸送の安全確保を最優先とすることを基本に、運行に影響を及ぼす作業については、鉄道運行の終了から開始までの、電車が運休している時間帯に行うこととなります。

工事の実施においては、作業条件に制約はございますが、東武鉄道株式会社と十分な調整を図り、駅利用者の安全確保や、近隣の皆様への丁寧な説明などに努め、ご理解、ご協力を頂きながら作業を進めてまいります。

7. 鉄道事業者の負担はあるのか

【答弁】

鉄道事業者の負担でございますが、市が所有する予定の自由通路の整備工事に係る協定金額13億3千万円につきましては、全額市の負担となります。一方、橋上駅舎の整備につきましては、東武鉄道株式会社が事業費の一部を負担することに関して、現在協議中でございます。

(質疑についての掲載は抜粋といたします。)

川越市議会議員選挙結果報告

4月26日投開票の川越市議会選挙(定数36)におきまして、山木綾子は3146票を獲得し、4期目の当選を果たす事が出来ました。

公職選挙法の規定より、書面等での御礼を禁じられておりますので、結果のみの報告とさせていただきます。

今後も市民の皆様お一人お一人の声に耳を傾け、まじめに市政に取り組んでまいります。

